

Redrit内質問より

Q.0を概念として再定義することでどんなメリットがある？

A.例え話なんだけど

比較の0をC0(comparison0)とし

【物理学】

外力が働いていない場合(合力=0)

他と比べて相対的に**0**

他と比較してゼロ(力が働いていない)→ 比較の0(C0)

【論理学】

比較の0(C0)は論理学にも使える。

C0を入れることにより

- ・命題論理は0と1以外の未確定な状態を比較出来る  
(真偽値表の確定を緩く出来る→0.8ならほぼ真、0.2なら完全な偽では無い)
- ・シュレディンガーの猫など、観測前をC0とすることでパラドックス解消

C0を入れると、論理の比較や矛盾の処理がしやすくなる

→「C0(比較の0)」として概念を統合し説明すると、合力の概念や、論理学の比較が直感的に理解しやすくなる。

基準の0をB0(basis0)とすると

【物理学】

力が完全に釣り合っている場合(合力=0)

この時点で**0**を基準とする

基準としてのゼロ(静止している、釣り合いが取れている)→B0

(多分速度0とかもB0として概念にあてはめることが出来そう)

【論理学】

命題論理の0と1の確定な状態をB0とする事で柔軟な論理設計が可能

【統計学】

犯罪率0%→犯罪が全く発生していない時の基準→B0

失業率0%→失業者が全く存在しない時の基準→B0

etc.....

—

何を目的としてこれを提唱したかと言うと

1. 数学や既存学問をより柔軟に分かり易く整理できるメリットがある
2. 既存の状態を表す概念としてより明確に整理できる
3. 今後、人類が発展して新しい0が生まれてもすぐに概念として取り込める(英語+0)
4. 教育の場で0がどういう役割を持つか感覚を持たせることが可能

あくまで概念として再定義するだけ。

既存の数式や未定義の問題を概念とすることで混乱が減らせる。

→過去に確立された学問の基礎などを壊さずに整理が出来る！

函館高専/運動の法則

[https://www.hakodate-ct.ac.jp/~nagasawa/Mechanics\\_2.pdf](https://www.hakodate-ct.ac.jp/~nagasawa/Mechanics_2.pdf)

東北大学 数学研究科/命題論理

[https://www.math.is.tohoku.ac.jp/~obata/student/subject/file/2018-1\\_meidaironri.pdf](https://www.math.is.tohoku.ac.jp/~obata/student/subject/file/2018-1_meidaironri.pdf)

沖縄科学技術大学院大学/シュレディンガーの猫

<https://www.oist.jp/ja/image/schrodingers-cat>